

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課	■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	財団法人北上市文化創造財団運営補助金		
■事業開始年度	平成15年度		
■評価事業コード	090200 - 119	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	01 芸術文化活動の推進	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画(平成28年度～平成30年度)		
■事業の目的と概要	さくらホールの円滑な運営を図り、施設利用者が安全に施設を利用できるようにするため、一般財団法人北上市文化創造に対し、運営に係る人件費等を補助するもの。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	一般財団法人北上市文化創造財団運営補助金	一般財団法人北上市文化創造	一般財団法人の管理、理事会・評議員会の開催	利用者数 274,471人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	61,388	61,980	63,450	63,451	
人件費	237	74		118	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	61,625	62,054	63,450	63,569	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	アートファクトリー稼働率	0.916	0.909	0.910	0.918	アートファクトリー稼働率
02	単年度来場者数	290,741	304,655人	280,380人	274,471人	単年度来場者数
03	ホール稼働率	0.759	0.743	0.766	0.723	ホール別内訳 大55.3% 中66.4% 小96.1% ホール全体72.3%

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

アートファクトリーの稼働率は90%を超えており、多くの方々に利用されている。

問題点・課題等

施設管理に係る人件費を指定管理料に組替できないか財団より申し出があり、検討が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

多くの市民が利用する施設を運営する財団に対し継続して支援するため必要な事業であるが、今後、施設管理に係る人件費は指定管理料に計上することとし、補助金は廃止とする。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了